

サッカー部は6年ぶり快挙
都市大塩尻総体切符

東京都大塩尻が1-

0で上田を倒し、6年ぶり4度目の優勝を果たした。後半17分、FKから生まれた好機を途中出場のFW代田勝也(2年)が逃さず、決勝ゴールを決めた。全国大会は7月28日から秋田県内で開催される。

切り札代田V弾

都市大塩尻が、一気に攻勢に転じた後半に勝負を決めた。

運動量を増やし、積極的にボールを追って迎えた17分。自陣で得たFKをGK寺沢がロングフィード。これをMF藤沢がヘディングで競り落とし、ボールはFW代田の前へ。一味方が競ったらDFの裏を狙う一意識を持つ1枚66、58のストライカーは、相手GKと1対1にも迷いはなかった。「トラップせずそのまま打った」。体勢を崩しながらも素早く右足を振り抜き、ゴールネットを揺らした。

流れの中で得点ではなかった。だが代田は、予想以上に前に出てこな

▽決勝
東京都大塩尻(100)0上田

▽得点者【都市大(後17分)】
00000000000022

【上田】
下島井本山塚井山林中
森飯水松宮丸石武丸栗田

GK DF MF FW
大光興社紀成平百樹太頭
優 明格和花康慎友康

【東京都大塩尻】
沢村尾山山本村沢島田
寺北西守高根中藤清水
00010100011

▽交代【都市大(後17分)】
代田(1)前31分、高橋大輝(1)中
田中(1)後0分、水田(0)中
青島(1)後0分、内田(0)中
村(1)後19分、上田(0)中
栗林(1)後15分、柳沢(0)中
山(1)後18分、小林(0)中
石(1)後30分

目標は8強以上

4月の県リーグ初戦に敗れ、3年生のスタメン全員が丸刈りにして出直しを図った今季。09年に現校名となってから初の全国出場を成し遂げた。MF根本主将は「(総体に)行くだけじゃ今までと同じ。ベスト8以上を狙いたい」と、過去最高成績に照準を合わせた。(高地 浩志)



終盤猛攻実らず

点場面に涙を流した。終盤は自ら前線に上がり、

＜東京都大塩尻・上田＞6年ぶり総体出場に貢献した東京都大塩尻・代田(左)は両手をあげて笑顔。中央は上田・田中

無断転載禁止

著作権はスポーツニッポン新聞社に帰属します

転載承認済

東京都大学グループ
学校法人 五島育英会